

ニューヨーク



Vol.1 多民族が共存する都市ニューヨーク

今回は、ニューヨークにお住まいの鈴木彩さんにお話を伺いました。

今はどちらにお住まいですか？

6年前から絵の勉強をするために渡米し、現在はニューヨーク市のクイーンズ区という所に住んでいます。ここはニューヨークの中でも、私のように海外からの移住者が多い地域といわれています。

ニューヨークでの生活について教えてください。まずは、暮らしてみてどんなところが大変ですか？

とにかく、食生活ですね。

家庭や人種によって様々ですが、一般家庭の食事の水準というのは、日本に比べてかなり低いのではないかと思います。ピザやハンバーガー等、いわゆる“ジャンクフード”と呼ばれるものが多いのですが、その味は日本で育った私にとっては味覚の差を感じず口にられません。日本人が美味しいと思うものを食べるには、やはりお金をかけるか、自炊を覚えるしかないと感じています。



それと、やはり何事に対しても少し『ルーズ』なのが気になりますね(笑)

事務的な契約などは、日本の感覚で進めようと思うとなかなか上手いきません。

ですから、待ち合わせをしても遅刻は当たり前ですね。

約束した日に、予定していた事が、全部終わる事はほとんどない気がします(笑)

『これは違うな』と思うこと、驚いたこと、戸惑ったことがあったら教えてください。

アメリカに着いたばかりの頃、チップはかなり戸惑いました。

チップという文化が日本には無いので、慣れるまではずっと損してる気がしていました(笑)

レストラン(ウェイターが居るところ)、美容院にまじり、カラオケ、BAR、エステ、スパなど、至るところでチップは支払われます。

チップは基本的に『気持ち』ということですが、こちらに来た当時に支払うチップの金額は、消費税(8.65%)の2倍と教えられました。

あと、全く違うと思ったのは喫煙マナーについてですね。

日本では、レストランなどでは禁煙席と喫煙席が設けられていて、屋外での歩きタバコや、喫煙所以外での喫煙を条例で禁止しているのですが、NYではレストランの店内は全て禁煙ですが、屋外では吸いたい放題です。

ですから、街中では良く、歩きタバコをしている人とすれ違えます。

些細なことかもしれませんが、私はそんな所にちょっとした『差』を感じました。

では、暮らしてみてどんなところがいいなと思いますか？

とにかく、色々な人がいるところですね。

NYって、本当に多民族の集まりなんですよ。

だから出会う人たちがそれぞれ違う文化を持っているので、お互いの国の文化を話すことによって、学ぶ事がとても多いです。

それに、人々がフレンドリーな所も良いなと思います。電車やバスなどで隣に座った人や、近くに居る人などは気軽に話しかけてきますので、とても楽しいです。

日本では、あまり無い光景ですからね。



あとは、家族を大切にしているところです。

日頃からきちんとコミュニケーションを取り、お互いを思いやっているのがとても素敵なことだと思いました。

では、海外に暮らしてみて感じた日本の良い所と悪い所はなんですか？

NYに住んでいると、日本は本当に世界一便利な国だと思いました。

世界的な大都市と言われているNYでさえ、日本に比べると本当に不便な場所です。

例えば交通機関にしても、電車の時刻表はないので、次は何時に来るのか、何時に目的地に着くのかは、ほとんど分かりません。

携帯電話や自転車も、日本ほど普及していません。

日本の便利さは、久しぶりに日本に帰ると、違和感を感じるほどに、完璧なことを思い知らされます。

日本は全ての物が、人間のために使いやすいように出来ていて、私はそのような便利さは、日本の良い所でもあり、逆に悪い所でもあると思います。

様々な情報や便利な物が溢れている日本の社会では、何をすることも困る事や苦労する事、考えることがほとんどないように感じます。

その発展と技術は本当に素晴らしい事ですが、時としてそれは、人として生きて行くために必要な何かを失ってしまっているような気がします。

沢山のビルが立ち並び、多民族が共存しているニューヨーク。

その大都市のイメージとはうらはらに、人との人とのコミュニケーションが盛んに行なわれている、とても温かい場所なんですね。

今回は、『お誕生日やクリスマスのお祝い』についてお送りします。



Vol.2 お誕生日のお祝いについて

今回もNYに在住の鈴木さんにお話を伺いました。

『お誕生日のお祝い』について教えてください。
ケーキの定番はありますか？

これぞ！という定番ケーキは無いように思います。

ただ、とにかくケーキの見た目が派手な印象を受けますね。デコレーションされているクリームが青や黄色やピンクなど、とてもカラフルな色をしています。

日本ではあまり見ないものなので、初めて見たときはビックリしました。

では、プレゼントの定番はありますか？

あげる人との関係や、家庭によってそれぞれだと思いますが、大切な人にはやはりアクセサリーをプレゼントすることが多いですね。

あとは、旦那様が奥さんに下着をプレゼントするというのを、アメリカ人の友人から聞いたことがあります。

お誕生日のメインディッシュになっているメニューはありますか？

これも、主役や、そのパーティーの形態によって様々だと思いますが、私がホームステイしていた時は、誕生日のパーティーを室内でやる場合はチキンの丸焼きで、家の庭でやるときはバーベキューでしたね。



家で誕生日パーティーをすることが多いのですか？

私が通っている学校では、クラスで誕生日の友達がいると、その日は朝から皆で待機して、バースデーソングとおめでとを必ず言う習慣があります。

では、あなたが一番印象に残っているお誕生日は何ですか？

私がホームステイしていた頃、まさか祝ってくれるとは思わなかったもので、何も言わなかったんです。それで当日、今日が誕生日だという事を伝えたら、慌ててお祝いの料理を作ってくれて、ケーキも用意してくれました。さらに次の日、わざわざ指輪を作ってきてくれて、その指輪はアイルランドの文化的な指輪でいろんな意味があるということ話をしてくれました。家族や恋人、大事な人に送るものらしく、私としてはたかがホームステイ、みたいな感覚でいたのですごく感動しました。その時にホストファミリーが言ってくれたのは、もっと私達を頼ってください、という事でした。留学して間もない頃、心細くてホームシックになったり不安がつきまとう中、ファミリー達の言葉は本当に優しく嬉しくて、励まされました。



母親の存在はどのようなものですか？

アメリカ人はとてもお母さんの事を大事にしています。

特に男の人にとって、母親の存在は偉大なようです。

ですから、自分のことよりも、母親を馬鹿にされるようなことがあると、大変傷つき、怒る人が多いように思います。

では、子育てと仕事の関係はどうですか？

アメリカの会社には、託児所があったり、育児のサポートしてくれる施設が多数見受けられます。ですから、「子供が出来て、育児との両立が難しい」という理由で会社を辞める人は少ないように思います。

それに、日本に比べて父親も積極的に子育てに参加しているので、共働きをしてもお互いがきちんと助け合っています。

そういったスタイルはとても素晴らしいことだと思いますし、日本でも、社会全体で子育てをサポートできるような環境が整うといいのではないのでしょうか。

その他、男性と女性についての文化があれば教えてください。

こちらには「レディーファースト」という文化があります。

日本に居る時から漠然とは知っている文化ではありましたが、実際に自分がその文化に触れてみると、やはり日本とは全然違うのだと改めて感じました。

特別な関係でなくても、男性は基本的に女性に優しくしてくれます。

男性は、小さい時から「女性には優しくする」という教育を受けているそうです。

しかし、この「レディーファースト」の文化の元は、“男性より女性の方が弱い生き物である”という考えから来ているそうで、日本でも昔から似たような考えがありますが、国が違うと表現の仕方が違うのだな...と思いました。

社会全体で子育てをサポートし、夫婦で助け合いながら、大切な家族を築き上げているのですね。そこから生まれる絆が、親から子へ、子からまたその子供へと受け継がれていくのでしょう。

次は、NYの最終回です。

NYで行なわれる様々なお祭りについてお届けしたいと思いますので楽しみに★



ニューヨーク



Vol.3 ニューヨークのお祭り

今回で最後になるニューヨーク編。
最後はニューヨークで行われているお祭りについてです。

ニューヨークで行われている『お祭り』について教えてください。



ニューヨークは、日本に比べてお祭りが本当に多いですね。大小関わらず良くお祭りが行われています。例えば、インディペンデンスデイ(独立記念日)や、イースター(復活祭)、プロム(高校の卒業)などがあります。また、面白いお祭りだと、ゲイパレードがあります。

そんな、イベントだらけのニューヨークでも、ハロウインは特に私の好きな一日です。

10月31日当日は、夜8時からパレードが行われ、とても盛り上がります。

その日のために一年間コスチュームの準備をする人や、衣装代に莫大なお金をかけたり、とにかく気合いを入れている人が沢山います。一ヶ月くらい前から、街では仮装用品や、お菓子、カボチャなど、ハロウインの商品があちこちで売り出され、ほとんどの家が、玄関や室内にカボチャを飾ります。

それに当日は街のあちこちで仮装してる人を見かけます。

屋間は近所の仮装した子供達が「Trick or treat!」(お菓子くれないとイタズラするぞ！みたいな意味)と言ってお菓子を貰いに來ます。



去年のハロウインの事です。私おパレードのために昼間、ネイルサロンに行っていました。その時驚いたのですが、本当にひっきりなしに仮装した子供達がお菓子を貰いに來るんです。特にお店などには大勢來るみたいで、店側も予めお菓子を用意してあって、子供達の持ってるバケツに入れてあげます。

ディズニーやアニメのキャラクターになってる子が多く、とてもかわいかったです。

ちなみに私の担当の店員さんは、毎年お菓子代の出費が大変だ、とこぼしているのですが、それがすごくニューヨークらしいなと思いました。

パレードの入り口はダウタウンの6アヴェニューとスプリングストリート。

その時間になると歩けないくらい大勢の人が入り口に密集します。一度中に入ると途中で外に出る事は出来ず、そのまま6アヴェニューを23ストリート位まで歩きます。



全部で2時間くらいはかかるので結構疲れますが、とにかく色々な仮装をしている人が多くて、見ているだけでとても楽しめます。

特にオリジナルの衣装の人なんかは个性的で、私が印象に残っているのは、5人くらいで大統領のかぶり物をしている集団ですね！ホラーものや天使や悪魔は定番ですが、それぞれが個性豊かで本当に綺麗でした。

パレードが終わったら、大抵の人がバーやクラブへ流れます。その日はほとんどの店がハロウインのイベントを催していて、仮装している人はタダだったり、仮装コンテストなどやっているクラブも多数あります。とにかく街中が大騒ぎで、楽しいイベントですね。

街も人も一斉にハロウインに染まる1日は、本当に楽しそうですね。

今回でニューヨークは終り。

次回は『ガーナ共和国』からのお話をお届けします。